

紹介受診重点医療機関の意向について

医療機関名	紹介受診重点医療機関の意向がある（病院や地域の外来の現状・課題、今後の外来機能への考え方について など）
新潟大学医歯学総合病院	<p>本院の病院機能として、救急も含めた「高度医療」に特化することを目指していますが、本院地域においては、慢性期一般診療の医療ニーズも非常に高いものがあります。この理由については、近隣のクリニック・無床診療所の移転や廃業による医療機能の低下及び患者の居住地によっては、紹介先の医療機関よりも、本院に通院の方が利便性に富む場合も少なくないことが、「再診に占める重点外来の割合」が25%に達しない主要な要因と考えられます。</p> <p>本院ではこれまで「本院でないと治療が困難な患者」が他の疾患を持つ場合は、その併存疾患を本院の診療科で診療することが多くありましたが、これらの併存疾患に関しては機能分化の観点から、患者の近医に紹介することを原則とすることにより、救急も含めた「高度医療」に特化し、外来医療の機能分化、診療連携の推進を継続して取り組むことで「再診に占める重点外来の割合」は基準の25%に達するものと推考されます。</p>
分類② 新潟医療センター	<p>当院では、新潟市内の救急医療ひっ迫に対応するため、救急車受入拡大に向けた取り組みを進めてきた結果、2022年の救急車受入約2,200台に対して2023年は3,000台を超え、2024年は4,400台、2025年は4,500台の受入を行い、救急医療の充実に向けて継続的に取り組んでいるところです。また、救急車受入拡大に伴い、勤務医の負担軽減についても併せて取り組む必要があり救急医の採用や、救急外来の運用改善に鋭意取り組んでいるところです。外来診療については、取り組みにより地域の開業医からの紹介も増加傾向にあり2025年度2月の時点で紹介率147.0%、逆紹介率72.8%と伸びています。県が示すランドデザインに基づく機能分化をより一層進めることが求められていることから、外来機能について開業医との役割分担を進めながら、勤務医の負担軽減に取り組む中で救急医療および入院医療を充実させていくことが必要であると考えております。</p>
国立病院機構西新潟中央病院	<p>当院の診療分野は、主に神経・筋疾患と呼吸器疾患であり、中でも【てんかん】については、新潟県より診療拠点病院として指定されており、他医療機関からの紹介初診だけでなく、その後の検査・治療も含めた総合的な診療を行っています。令和6年度実績で、てんかん診療に係る再診患者数は約11,000人であり、この人数は重点外来の再診患者数に含まれていません。仮にこの患者数を重点外来に含めた場合、再診割合は32.1%となり基準値を上回る状況にあります。</p> <p>当院も、一般外来については機能分化、診療連携の推進等には既に取り組んでおり、逆紹介率については90%前後で推移しています。今後も当院の専門性を生かした診療を行い、地域における当院の役割を理解し、地域全体で他の医療機関等と外来医療の機能分化・連携の推進や役割分担を行っていきます。</p>

医療機関名	紹介受診重点医療機関の意向がない（病院や地域の外来の現状・課題、今後の外来機能への考え方について など）																															
新潟臨港病院	<p>昨年度と同様、重点外来割合の基準は満たしていますが、参考水準の逆紹介率は基準を下回っています。</p> <p>また、当院の病床規模では「紹介受診重点医療機関入院診療加算」を算定することができません。</p> <p>当院の地域性を考慮した場合、外来受診動態の変容の可能性もあり、今年度も「意向なし」とさせていただいた次第です。将来的に地域の理解を得つつ制度の方向性を確かめながら、紹介受診重点医療機関への手上げの検討を継続して参ります。</p>																															
分類 ③ 県立がんセンター病院	<p>紹介受診重点医療機関制度の趣旨については十分理解しており、当院としても地域医療における外来機能の適正な分化に貢献する必要性を認識しています。しかしながら、以下の理由から、今回も届出は見送ることとしました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・紹介割合及び逆紹介割合の実績が、現時点で基準を満たしていないこと ・届出を行った場合、診療報酬上の減収が大きく、経営的な影響が大きいこと <p>今後も引き続き、体制強化を図りながら、将来的な届出を目指してまいります。</p> <p>[年間の状況]</p> <table border="1" data-bbox="282 740 943 884"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>減算基準</th> <th>令和6年度実績</th> <th>令和7年度 (1月時点)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>紹介割合</td> <td>50%以上</td> <td>49.3%</td> <td>48.0% (×)</td> </tr> <tr> <td>逆紹介割合</td> <td>30%以上</td> <td>25.1%</td> <td>29.0% (×)</td> </tr> </tbody> </table> <p>[直近の状況]</p> <table border="1" data-bbox="983 740 1888 884"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>減算基準</th> <th>11月</th> <th>12月</th> <th>1月</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>紹介割合</td> <td>50%以上</td> <td>47.5% (×)</td> <td>50.3% (○)</td> <td>44.8% (×)</td> </tr> <tr> <td>逆紹介割合</td> <td>30%以上</td> <td>30.2% (○)</td> <td>31.5% (○)</td> <td>29.1% (×)</td> </tr> </tbody> </table>					項目	減算基準	令和6年度実績	令和7年度 (1月時点)	紹介割合	50%以上	49.3%	48.0% (×)	逆紹介割合	30%以上	25.1%	29.0% (×)	項目	減算基準	11月	12月	1月	紹介割合	50%以上	47.5% (×)	50.3% (○)	44.8% (×)	逆紹介割合	30%以上	30.2% (○)	31.5% (○)	29.1% (×)
項目	減算基準	令和6年度実績	令和7年度 (1月時点)																													
紹介割合	50%以上	49.3%	48.0% (×)																													
逆紹介割合	30%以上	25.1%	29.0% (×)																													
項目	減算基準	11月	12月	1月																												
紹介割合	50%以上	47.5% (×)	50.3% (○)	44.8% (×)																												
逆紹介割合	30%以上	30.2% (○)	31.5% (○)	29.1% (×)																												